

平成 29 年度第 1 回苫小牧市防犯のまちづくり懇話会会議録

1 日 時 平成 29 年 8 月 10 日（木） 15：00～16：20

2 場 所 市役所 2 階入札室

3 出席者

（委員） 谷岡裕司委員長・松村順子副委員長
北岸由利子委員・福森久雄委員・佐藤一美委員
牛坂 勉委員・城市茉央委員
（事務局） 用田市民生活部次長・野水安全安心生活課長
石垣副主幹・大西主査

4 次 第 （1） 開会

（2） 任命書交付

（3） 市民生活部長あいさつ

（4） 委員長あいさつ

（5） 説明事項

① 平成 29 年度防犯施策の取組について

② 平成 29 年度防犯施策事業について

（6） 懇談

（7） 閉会

懇 談 要 旨

●平成 28 年度第 2 回開催時質疑に対する回答

【事務局】

① 「地域パトロール時の行政からの情報提供」について

○春休み、夏休み等を子供のたまり場をパトロールする際に暴力団がらみの子供がいてトラブルの発生することがある。事前に暴力団事務所等の所在情報があればトラブル回避できる場合もあるので、行政から情報公開できるものだろうか。

(回答) 警察署に照会の結果、官報以外に警察として情報公開はしていない。その情報も全国組織の暴力団本部のものであり、地方組織は掲載していない。防犯パトロールは、自分の身に危険が及ばないよう無理をせず、複数で実施していただき、何かあった場合はすぐに警察に通報するようお願いする。

② 「防犯だよりのデータ」について

○印刷物で配布されているが、データ提供は可能か。

(回答) 市ホームページ、ホーム「くらし・手続き」「防災・防犯・交通安全」「防犯」「苫小牧市防犯協会」「防犯だよりのデータ」中に発行都度、PDFで掲載しているのでデータ取得可能。

③ 「防犯灯と街路灯の区分と基準」について

○苫小牧市における明るさ、設置形態、目的等の基準はどのようなものか。

(回答) 一般的に幅員 10m以上の幹線道路を街路灯、それ以外の住宅地区の生活道路に設置されているものを防犯灯として区分している。幹線道路は「道路照明施設設置基準」に基づき、交差点、橋梁、歩道、インターチェンジ等の局部を照明し、人や車の交通に支障がないよう設置することを目的としている。また、生活道路に設置の照明は、主に防犯を目的に町内会が設置管理を実施している。

●懇談

① 「防犯パトロール中の標識 (マグネット)」について

○冬期間、青色回転灯車両での活動中「防犯パトロール中のマグネットによる標識」が気象状況により脱落してしまうので、車両サイドウインドウか後部ウインドウの内側から貼付できるようなものは無いだろうか。

【事務局】 方法について警察に確認する。

② 「JR 錦岡駅のトイレ、自転車置き場の防犯カメラ」について

○錦岡駅に付随するトイレは、汚れ、いたずらがひどい状況であるが、一時簡易カメラを設置したとき、その効果が見られたので、計画通り次年度設置願う。

【事務局】 庁内で、糸井・青葉・錦岡駅について総合的に再検討中。

① 「防犯カメラの設置要望数」について

○設置 5 年計画表での設置要望台数が部局によってはかなりの台数に上っているが、事業仕分けが必要では。

【事務局】 各部局に精査依頼中で、31 年度以降はより現実的な数とするよう準備を進めて行きたい。

② 「防犯カメラの 1 台当りの予算額」について

○価格の高いものと低いものの開きの差は何か。

【事務局】 配線を取り回した録画機能のあるものから電池式で SD カードによる記録方式のものまであり、機能上の価格差によるもの。

① 「防犯カメラの設置要望状況」について

○300 台という大きい数字の要望については、カメラの設置意義について再度説明をすべき。

【事務局】 このカメラの要望台数は、各担当部局からのものを集約した数で市民や住民からのものとなっていない。機能的には録画機能を備えており、遠隔操作によりリアルタイムで確認できる機能はないが、施設や場所によっては管理主体で随時対応が必要。

○今年、沼ノ端駅の近くでパトカーをよく見るが、設置状況は。

【事務局】 沼ノ端駅には複数設置している。

② 「SOSの家こどもステッカー」について

○導入後 20 年経過してるが、以前に小学生 1 万人に対してアンケートをとり 60%未満であるが、回答を得た。その中で、助けてもらったという回答は 2 人のみであったが、SOSステッカーの効果は、子供達が逃げて助けてもらえるということよりも、地域に沢山貼付することによる防犯上の安全安心

効果を高めることにあると思う。年月の経過もあることから更新も含め増やすことについて、子供支援課、教育委員会、防犯協会、町内会で協力して再啓発していくことが必要。

【事務局】 健康こども部が主になり活動実施。今後も連携を深め情報交換・共有を密に活動を展開して行く。

③ 「防犯研修会」について

○有意義な研修と思う。小学生の若い保護者等に届く研修やより知識を深められるような研修を望む。

【事務局】 防犯リーダー研修は、市内の自主防犯パトロール組織を対象としており、警察と協議しながらテーマを決めて実施している。今後もより身近に感じられるような講習を心掛けて行く。また、若い保護者に対しての意識啓発については、地域における啓発の中で進めて行く。

① 「防犯啓発の手段」について

○とまこまい港まつり会場で未成年者の飲酒、喫煙、暴力事件などがあると聞いているが、アナウンスで防犯を呼びかけるとか、会場舞台裏にスクリーンがあるので防犯用VTRを放映しての方法はどうか。

【事務局】 まつり事務局と有効な方法について検討していく。

① 「防犯に関する連携」について

○防犯のまちづくりというのは守備範囲が広く、例えば明德小と錦岡小の統廃合に伴う通学路の変更があるが、これは教育委員会で健康こども部も関わってくる。具体的にどんな形で連携が見えてくるのか。

【事務局】 防犯に関しての庁内連絡会議の中で情報共有を図っている。学校通学路に関しては、教育委員会と情報の共有化を図っている。

② 「防犯カメラ」について

○カメラの設置は5カ年計画で要望台数と比較し34台という現状において、予算的に初期費用やメンテナンスもあり、ダミーでよい場所やより高い精査の必要な場所についてのすみ分けが必要という感想を持った。

【事務局】 現在各担当部局に台数も含め精査を依頼しているが、現行方式での予算組み立てが良いのか、直接原課での予算付けをする方が良いのか検討の余地がある。

① 「防犯カメラ」について

○警察署協議会の委員をしていたが、その中でもカメラの設置要望が多かったが、これを市民の声と捉えて前に進めていただきたい。

② 「庁内連携」について

○担当部局と連携して対応を検討するという表現が多いが、ここで出た質問について直接キャッチボールが出来るように、関係部局がここに出席してもらえればありがたい。

【事務局】 ①、②～努力していきたい。